



平成 26 年 9 月 30 日
独立行政法人日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 福島環境安全センター

福島の環境回復に係るセシウムに関する第 2 回国際ワークショップ の開催について

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故によって汚染した環境を回復するためには、放射性セシウムが長期間とどまると見られる環境の除染や被ばく低減対策及び除染に伴い発生した廃棄物の減容等の多くの課題を解決する必要があります。

このような背景のもと、昨年度に引き続き、「福島の環境回復に係るセシウムに関する第 2 回国際ワークショップ」を開催し、福島の環境回復の進捗状況や諸外国の経験を踏まえた課題解決策等について、各国の専門家と議論を行います。特に、今回のワークショップでは、森林対策、リスクコミュニケーションなどについても議論を行います。

つきましては、標記国際ワークショップについての開催について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 名称：福島の環境回復に係るセシウムに関する第 2 回国際ワークショップ
2. 期間：平成 26 年 10 月 6 日（月）～10 月 9 日（木）
3. 場所：ユニックスビル 8F 会議室（福島県福島市栄町 6-6）

4. 概要：【10/6（月）】

9：00～9：30 ウェルカムセッション

※JAEA 代表者などより挨拶があります。

9：30～10：10 セッション 1 「ワークショップの目的と論点」

10：30～17：00 セッション 2 「放射性セシウムの動態調査」

【10/7（火）】

9：00～17：00 セッション 3 「放射性セシウムの動態モデル」

【10/8（水）】

9：00～14：40 セッション 4a 「トリチウムおよび森林対策」

14：40～17：40 セッション 4b 「リスクコミュニケーション」

（裏面へ続く）



【10/9 (木)】

9:00～11:40 セッション5「除染除去物の減容」

13:00～17:00 最終討論

5. 参加者数：イギリス、スイス、アメリカ、イタリア他からの参加者を含む約60名
6. 傍聴等：①会場スペースの関係で席に限りがありますので、傍聴をご希望の方は別紙にて事前にお申込みください。
②使用言語は英語です。原則として通訳はありません。

以 上

<お問合せ先>

独立行政法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門

福島事業管理部総務課 眞鍋、吉田 TEL: 024-524-1060 FAX: 024-524-1073



(別紙)

平成 26 年 月 日

「福島環境回復に係るセシウムに関する第 2 回国際ワークショップ」

<傍聴申込書>

送付先：

日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島事業管理部 総務課 行

(FAX 024-524-1073)

ご希望のセッションに○をつけてください。

10/6 (月)	ウェルカムセッション, () 1 (), 2 ()
10/7 (火)	セッション3 ()
10/8 (水)	セッション4a (), 4b ()
10/9 (木)	セッション5 (), 最終討論 ()

傍聴者氏名

氏名	住所 (連絡先)